

新潟市北区郷土博物館 令和3年度事業計画と経過報告

1 展示事業

(1) 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展 昔の子どもたちの日々(前年度から継続) **実施済**

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展示する企画展。小学校3年生社会科「かわる道具と暮らし」の授業内容とも連携させることができる企画として、平成28(2016)年度より開催。シリーズ5回目のテーマは「昔の子どもたちの日々」。学校で使われていた教科書や備品、手作りの遊び道具などのほか、家の“働き手”として子どもたちも使った道具を展示し、生活の苦労の中にあつた数々の工夫や楽しみを紹介した。

- ・会 期 R3. 1/5(火)～5/16(日)
- ・入館者数 2,494人
- ・会 場 ホール
- ・展示点数 99点(内訳 民俗資料67点(参考資料2点含む)、写真27点、イラスト5点)
- ・展示構成
 - まなぶ(学校でまなぶ・家でまなぶ)、はたらく、あそぶ
 - 体験コーナー(会期中随時)
 - ひみつ基地で遊ぼう(昔の遊び)
 - 天びん棒を担いでみよう
- ・展示解説会
 - 実施日・参加者数・講師 4/10(土)・4人 4/24(土)・14人 曾部珠世(両日)

② 美術企画展「本の読みかた、愛しかた」 **実施済**

知の宇宙ともいうべき百科全書。「読める本」の限界に挑戦した「豆本」。実用から逸脱した愛蔵のための極小本や工芸的な私刊本。「本とは何か」をさまざまに表現してみせる美術作品。文字を「読む」のではなく、「見ること」を求める折帖(おりじょう)。本とは「読むもの」「読まねばならないもの」という常識を覆す本の奥深さを紹介した。

- ・会 期 6/5(土)～7/11(日)
- ・入館者数 755人
- ・会 場 ホール
- ・出品作家(予定) ※太字は、当館所蔵作品・資料を出品
 - 池田純夫、上田**桑鳩**、笠井千鶴、佐藤公平、長沢明、深井隆、舟見俊二
 - 他に、高橋友太郎が企画・発刊した私刊本、**弦巻松蔭**旧蔵の豆本
- ・作品鑑賞会
 - 実施日・参加者数・講師 6/20(日)・10人 7/4(日)・15人 神田直子(両日)

③ 第24回 松蔭賞書道展 **実施中**

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなみ、書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催した。応募点数は2,273点で、入選・入賞作品238点を展示。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、一日に3回、部門別に表彰式を開催した。

- ・主催 新潟市北区
- ・会期 7/24(土)～8/29(日)
- ・入館者数 223人(7/31現在)
- ・会場 ホール、集会室
- ・対象 新潟市内の小学校3年生～中学生
- ・審査員(五十音順) 伊豆名皓美氏(にいがた文化の記憶館 学芸員)
岡村 鉄琴氏(新潟大学教育学部 教授)
佐藤 奎玉氏(書家・新潟県書道協会参事)
和泉 哲章(新潟市立白南中学校 校長)

- ・応募校等 北区内 … 小学校 10校 中学校 5校
- 市内他区… 小学校 3校 中学校 6校
- 書道教室… 10校
- 個人応募… 11人
- ・学年別応募数内訳(点)
※()内は教室・個人

小3	395 (49)
小4	577 (46)
小5	419 (56)
小6	408 (62)
中1	277 (24)
中2	95 (21)
中3	102 (25)
合計	2,273 (283)

- ・入賞者数 238人
- 松蔭賞 7人 (各学年1人) 優秀賞 21人 (各学年3人)
- 特選 70人 (各学年10人) 佳作 140人 (各学年20人)

④ 第14回 新潟市北区こども科学展

新潟市北区の小・中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を「模型」「標本」「発明工夫」「観察・実験」の4部門で公募し、発表・展示する。

- ・主催 新潟市北区
- ・会期 9/18(土)～10/10(日)
- ・会場 ホール、集会室

⑤ 美術企画展「眼と手のあいだー4人の作家がみつめた風景」

風景画に取り組んできた池田則美(1955-)、齋藤満栄(1948-)、鶴巻加代(1946-)、西村満(1935-)という新潟市北区にゆかりのある4人の画家が描き出した世界を通して、画家のまなざしと創造の秘密を探る。

- ・会期 11/13(土)～12/12(日)
- ・会場(予定) ホール

- ・出品作家 ※太字は、当館所蔵作品を出品
池田則美、齋藤満栄、鶴巻加代、西村満
- ・作品鑑賞会（予定）

実施日・講師 11/21（日）、11/28（日） 神田直子、齋藤加奈

⑥ 常設展拡大企画 昭和の暮らし展一日々をいろどる「食」の風景ー（仮称）

昭和の時代に使われていた昔の道具を展示し、その暮らしを紹介する「昭和の暮らし展」シリーズの第6回展。今回は、さまざまな食事のシーンを、食事をする「場所」に焦点をあてて紹介する。

- ・会 期 R4. 1/4（火）～5/8（日）
- ・会場（予定） ホール

2 教育普及事業（講演会・講座・教室・講師派遣・レファレンス等）

(1) 第30回 博物館まつり

11/3（水・祝）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(2) 琵琶コンサート（仮称）

新潟県文化祭2021（主催 新潟県）の一環の出前コンサート事業に参加し、博物館において古典芸能を鑑賞するミニコンサートを開催する。琵琶の演奏と琵琶に関するトークを予定。

- ・期 日 10/24（日） 1日に2回開催
- ・参加者数 各回20人（定員）
- ・出演者 琴游船（薩摩琵琶演奏グループ）
- ・会 場 ホール

(3) 講師派遣

① 講座「クイズで学ぼう 福島潟の新田開発」 実施済

- ・主 催 新潟市豊栄地区公民館
- ・事業名 ご近所だんぎ
- ・期 日 5/13（木）
- ・講 師 曾部珠世（講師派遣）
- ・参加者数 20人
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館

② 講座「クイズで学ぼう 福島潟の新田開発」 実施済

- ・主 催 サロン秋葉会
- ・期 日 6/24（木）
- ・講 師 曾部珠世（講師派遣）
- ・参加者数 20人
- ・会 場 川西住良公民館

③ 民具学会公開研究会での報告「常設展示「福島潟と人々の暮らし」から40周年 福島潟の民俗資料の収集と活用をふり返る（仮）」

- ・主 催 新潟県民具学会
- ・期 日 11/7（日）
- ・講 師 曾部珠世（講師派遣）
- ・参加者数 80人（予定）
- ・会 場 新潟市歴史博物館

④ 名誉館長事業「遠藤麻理と福島潟の妖怪たち」での報告（福島潟のお福伝説、水害について）

- ・主 催 水の駅「ビュー福島潟」
- ・期 日 11/14（日）
- ・講 師 曾部珠世（講師派遣）
- ・参加者数 70人（予定）
- ・会 場 水の駅「ビュー福島潟」

⑤ 講座「現代美術への招待（3）」

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 12/11（土）
- ・講 師 神田直子（講師派遣）
- ・参加者数 30～40人（予定）
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館

⑥ 講座「美術の物語」

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 R4. 2/12（土）
- ・講 師 神田直子（講師派遣）
- ・参加者数 30～40人（予定）
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館

（4）他館への協力

① 他館主催見学会での展示説明 **実施済**

- ・主 催 新潟県立歴史博物館
- ・事業名 県立歴史博物館講座「地域の資料館へ行って 生活用具をウォッチング」
- ・期 日 6/26（土）
- ・講 師 曾部珠世
- ・参加者数 8人

（5）レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(6) 刊行物販売

3 ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

(1) 学校教育の一環としての利用

② 新潟市立豊栄南小学校2年生 生活科の授業のためのインタビュー映像撮影対応 実施済

- ・期 日 8/6 (金)
- ・講 師 齋藤加奈
- ・参加者数 1人 (担任教諭)
- ・会 場 常設展示室、ホール

① 新潟市立太夫浜小学校3年生課外学習 (予定)

- ・期 日 9/9 (木)
- ・講 師 曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド数人
- ・参加者数 35人 (予定)
- ・会 場 ホール、常設展示室 (予定)

(2) 一般の地域学習の場としての利用

① 郷土・新潟を元気にする会「幕末・明治の北区の教育者 曾我簡堂」 実施済

- ・期 日 4/3 (土)
- ・講 師 曾部珠世
- ・参加者数 37人
- ・会 場 常設展示室、集会室

4 市民ガイド (常設展示ボランティアガイド) の活動

市民ガイド研修 (スキルアップ研修、情報共有・情報交換) の実施、来館者対応についての調整の事務等。

(1) 活動実績 (4月～8月)

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行うもの。

- ・一般団体見学対応 1回 (見学者72人 (寺尾上町自治会育成部)、市民ガイド3人)
- ・個人見学対応 1回 (見学者 2人、市民ガイド1人)
- ・学校見学対応 実績なし

(2) 市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報共有を図る目的で行う。

①当館企画展関連研修と情報交換 **実施済**

「昭和のくらし展 昔の子どもたちの日々」での研修（担当 曾部）と、令和2年度の活動実績報告、コロナ禍での令和3年度の活動について等の意見交換（担当 齋藤）を行った。

- ・実施日 4/24（土）
- ・研修場所 北区郷土博物館
- ・参加者数 市民ガイド7人
- ・担当 曾部珠世、齋藤加奈

②当館企画展関連研修と情報交換 **実施済**

「美術企画展 本の読みかた、愛しかた」での研修（担当 神田）と、8月以降の活動の確認、コロナ禍でのガイド方法の再確認と意見交換（担当 齋藤）を行った。

- ・実施日 7/11（日）
- ・研修場所 北区郷土博物館
- ・参加者数 市民ガイド4人
- ・担当 神田直子、齋藤加奈

5 博物館実習、職場体験等の受け入れ

①博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

- ・実習期間 8/28（土）～9/4（土）のうち7日間
- ・実習生 3人（新潟大学）

6 郷土資料収蔵庫・横井の丘ふるさと資料館の管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止 ・空調管理（郷土資料収蔵庫のみ）
- ※ 横井の丘ふるさと資料館については別紙を参照。

7 所蔵資料（指定文化財含む）の保管・整理

- ・くん蒸処理（各分野の所蔵資料・新収蔵資料等） 10/4（月）～10/8（金）（予定）
- ・歴史資料の整理作業（目録化等）
- ・民俗資料の整理作業（台帳化、郷土資料収蔵庫配架等）
- ・美術作品の整理作業（台帳整理等）
- ・外部依頼の整理作業（歴史資料目録のデータ入力等）

8 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録

(個人への貸出等は除く)

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
3/13 ※貸出期間は 4/1～R4.3/31 ※H23.4/1以降 貸出継続	<ul style="list-style-type: none"> ・森下古銭出土地 古瀬戸[瓶子]、 ・森下古銭出土地 銭貨94枚、 ・伝佐渡沖海底 珠洲焼[壺] (島山佑二コレクション)、 ・華報寺墓跡 珠洲焼[壺] (島山佑二コレクション) 	新潟市文化財センターでの展示	新潟市文化財センター
3/31 ※貸出期間は 4/1～R4.3/31	オオヒシクイ剥製 (アクリルケース入り)	水の駅「ビュー福島潟」での展示	水の駅「ビュー福島潟」
7/30	<ul style="list-style-type: none"> ・松影D遺跡出土 土器 5点 ・馬見坂遺跡出土土器・土製品 15点 	企画展「倭国大乱～律令国家成立までの越後平野」での展示、印刷物等への掲載	新潟市文化財センター
8/15	<ul style="list-style-type: none"> ・高森神楽のお頭 ・「モントオシ (山口賢俊氏撮影)」、 「コヤシまき (植木克夫氏撮影)」 等の写真10点	企画展「むかしのくらし展 新潟のくらしと年中行事」での展示、印刷物等への掲載	新潟市歴史博物館

9 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

- ・木崎村小作争議100周年事業にかかる調査（「10 特色ある区づくり事業」）

(2) 公開活用

- ・郷土芸能発表会（博物館まつり）（再掲） ……博物館まつりの中止に伴い中止
- ・文化財等説明板の修繕

(3) 保護育成

- ・くん蒸処理（収蔵資料等）（再掲）
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応
- ・「看板（無産農民学校西入口）」（市指定文化財）の修復（項目10を参照）

10 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議 100 周年事業」

(令和2～4年度の3ヵ年事業の2年目)

木崎村小作争議は、農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。令和4(2022)年度がその100周年にあたることから、この運動が北区で起こったことを再認識してもらうことを目的として実施するもの。

あわせて、次世代に引き継ぐために、劣化の進んでいる歴史資料の修復を行う。

特色ある区づくり事業計画(木崎村小作争議100周年事業)

実施年度	令和2年度(1年目)		令和3年度(2年目)		令和4年度(3年目)	
計画内容	前期	後期				
		調査出張 資料調査・整理	調査出張	企画展パンフレット作成 企画展チラシポスター作成	企画展、講演会の開催	記録集作成
		結果打合せ出張	展示用パネル・ 展示台作成			
	指定文化財修復調査委託(東北芸術工科大学)		指定文化財修復委託			
			修復現地確認	移送打合せ		
			修復後打合			
<参考> 区づくり事業の 終了後の予定	3年間の特色ある事業の成果である修復した指定文化財を、北区郷土博物館の展示に利用できし、他の博物館などにも活用してもらえる。企画展に合わせて作成するパンフレットに調査結果、当館所蔵の資料説明などを掲載することで、地域のみならず全国に情報発信できる。また、今後の研究に活用していただくことができる。企画展終了後、その企画展のまとめ、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作成することで整理した記録が残り、調査や研究に繋げることができる。					

【令和2年度】

- ・令和4年度の100周年に開催する企画展で展示予定の「看板(無産農民学校西入口)(新潟市指定文化財)の修復を行うために、看板の状態調査を東北芸術工科大学へ委託し、調査を行った。
- ・県立文書館等で木崎村小作争議に関する歴史資料の所在確認調査を行った。

【令和3年度】(計画)

- ・「看板(無産農民学校西入口)」の修復を東北芸術工科大学に委託。修復作業は9月～12月を予定。
- ・企画展のための準備(資料調査・選定、広報印刷物・パンフレットの作成、パネル制作など)

【令和4年度】(計画)

- ・企画展「木崎村小作争議100周年展(仮称)」と、その関連事業として、講演会とゆかりの地を巡るバスツアーを開催。企画展では、修復した看板を展示公開。
- ・企画展終了後は、企画展のまとめ・講演会の報告・修復の報告等をまとめた記録集を作成。

木崎村小作争議100周年展（仮称）開催要項（案）

1 企画展名 木崎村小作争議100周年展（仮称）

2 趣旨

北区の歴史の中でも特徴的な出来事である木崎村小作争議は、農民自らが生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。

令和4年度がその100周年にあたるため、新潟市指定文化財「木崎小作争議関係資料」等を展示・公開し、今一度、農民運動として全国的に有名な出来事が北区において起こったことを再認識してもらう機会として市民に広く紹介する。

3 会期 令和4(2022)年5月28日（土）～7月18日（月・祝）

4 会場 新潟市北区郷土博物館 展示ホール・集会室

5 主催 新潟市北区・新潟市北区郷土博物館

6 入館料 無料

7 主な展示資料（案）

・小作側関係

文書資料は、当館所蔵「阿部助哉寄贈文書」（市指定文化財）

木製看板「無産農民学校西入口」（令和3年度に修復した文化財の公開） など

・地主側関係

眞嶋桂次郎（天楽）書（業をいそしむ民の心こそ すめらの国の宝なりけれ、掛軸）

眞嶋桂次郎作成、葛塚町山田巳三次・石井政次あて書状（藁細工の原料について）

（「嘉山・石井家文書」1329）

真島家小作人組合規約（「阿部助哉寄贈文書」）

県立文書館所蔵の地主関係の文書 など

8 関連講座

(1) 講演会 演題・講師・日時 未定

会場 新潟市北区郷土博物館 集会室

定員 30名（申込要）

(2) バスツアー（マイクロバスで木崎村小作争議のゆかりの地を巡る見学会、半日）

日時 未定

見学地 木崎村小作争議50周年記念碑（無産農民学校西入口跡）、久平橋、鳥屋浦事件の現場、「濁川校」門柱（濁川小学校・眞嶋桂次郎揮毫）、阿部半雅翁碑（松枝神社・篆額が眞嶋桂次郎揮毫） など

定員 20名（コロナの影響がある場合はその定員）

講師 当館職員ほか

令和3年度入館状況

(7月31日現在)

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館 入館者 数(人)	主な行事
4月	610	—	昭和のくらし展—昔の子どもたちの日々 1/5～5/16
5月	470	—	昭和のくらし展—昔の子どもたちの日々 1/5～5/16 (計2,494人 ※4/1～5/16は911人)
6月	553	—	美術企画展 本の読みかた、愛しかた 6/5～7/11
7月	570	—	美術企画展 本の読みかた、愛しかた 6/5～7/11 (755人) 第24回 松蔭賞書道展 7/24～8/29
8月	0	—	第24回 松蔭賞書道展 7/24～8/29
9月	0	—	第14回 新潟市北区こども科学展 9/18～10/10
10月	0	—	第14回 新潟市北区こども科学展 9/18～10/10
11月	0	—	美術企画展 眼と手のあいだ—4人の画家がみつめた風景 11/13～12/12
12月	0	—	美術企画展 眼と手のあいだ—4人の画家がみつめた風景 11/13～12/12
1月	0	—	昭和のくらし展—日々をいろどる「食」の風景(仮称) 1/4～5/8
2月	0	—	昭和のくらし展—日々をいろどる「食」の風景(仮称) 1/4～5/8
3月	0	—	昭和のくらし展—日々をいろどる「食」の風景(仮称) 1/4～5/8
合計	2,203	0	

・「入館者数」は、館内に入場した人数です。展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。
 ・横井の丘ふるさと資料館は現在休館中です。

月別入館者数調べ(本館のみ)

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	四半期 R3/R2
4月	464	426	379	434	510	649	698	272	610	165.1%
5月	610	504	446	547	427	554	527	185	470	
6月	587	376	674	743	683	535	589	532	553	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	427	570	
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	526		
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	850		
10月	910	532	452	0	575	698	798	481		
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990	1,557	781		
12月	428	193	580	582	337	418	354	605		
1月	370	260	551	769	510	422	671	665		
2月	647	635	714	656	323	701	738	468		
3月	925	1,094	426	875	492	408	306	450		
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,157	8,895	6,242	2,203	